



第16期

第2四半期株主通信

2019年7月1日 ▶ 2019年12月31日

株式会社トラスト・テックは2020年1月、持株会社体制へ移行し、社名を株式会社ビーネックスグループへ変更しました

B⇒NEXT

株式会社ビーネックスグループ

証券コード：2154



ひとりひとりが 自分らしいキャリアを歩み、 変革の原動力となる社会に。

株式会社ビーネックスグループ
代表取締役社長

西田 稜

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループの事業活動に格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新たに株主となられた皆さまには、心より御礼申し上げますとともに、未永くご支援の程お願い申し上げます。

ホールディングス体制への 移行後について

この度、当社グループは、ホールディングス体制への移行を実施しました。国内グループ各社の社名変更も行

い、次の時代(未来)に向けて新たなステージへ進むために更なるチャレンジを推進していきます。ひとりひとりが、あらゆる産業で変革の原動力となる社会。それがBeNEXTグループの目指す未来です。

ここ数年、当社グループは、事業規模の拡大・既存事業活動の拡充に加え、新たな事業領域への展開も急ピッチで拡大してきました。そして事業会社がより機動的に事業展開できるように組織を組成したことで次なるステップへ駆け上がる枠組が整いました。今後は市場に対して当社グループがどう変わっていくのかを具体的なアプローチも含め、場面ごとに明確に伝えていくことが重要

であると考えています。また当社は、ひとりひとりが自分らしいキャリアを歩み、変革の原動力となる社会の実現を目指しています。そのために、当社グループ社員自身に理念の浸透を深化させ、我々は日々、「『次』に挑む、機会を創り続ける」というミッションを果たしていかなければならないと思っています。

派遣ビジネス市場の動向および現状認識について

昨年は、景況感も含め景気が若干停滞した年だったと思います。国内の派遣ビジネス市場動向を振り返りますと、技術系領域の派遣に関しては現状、景況感とは関係なく派遣ニーズは継続的に発生しており、需給バランスがタイトな状態が続いている状況です。今後も、人材の獲得・確保とともに、技術者の教育・育成に力を入れてい



くことが重要であると考えます。

製造系領域においては、米中貿易摩擦などの問題に起因したマクロ経済鈍化の影響を受けた自動車や半導体等の輸出産業の減産が顕著に見られ、取引先からの受注数が低調に推移したこともあり、稼働数が伸び悩んでいます。



一方、海外領域では、売上高の大半を占める英国において、ポンド安が進んだことにより減収となりましたが、ブレグジットに端を発する歴史的に低い失業率が人材派遣には追い風となって現地通貨ベースでは安定的に成長しています。

2020年6月期下期における経営推進状況について

当上半期のグループ経営全般を振り返りますと、売上面・利益面ともに期初の計画に近い進捗を達成することができました。しかし一方で、米中貿易摩擦による世界経済へのマイナス影響による余波や、ブレグジットによる社会・経済の影響の不透明さ、新型コロナウイルスの影響など、不透明な状況が重くのしかかっており、下期目標の達成について予断をゆるさない状況にあります。

そのような状況にあっても当社の主力事業である技術系領域は成長を継続しています。なかでもIT分野については、従来の組込制御から、ソフトの開発や運用、インフラなどへ裾野を積極的に広げてきたことで堅調に伸びています。そして期初に掲げた目標であるエンジニア社員数7,300名(前期比約1,000名増)の達成も射程圏内に入っています。今後も世の中の需要を確実にキャッチアップすることで、更なる事業の拡大が見込まれると考えています。

製造系領域では、大きく景況感の影響を受けた結果、稼働ベースではほぼ横ばいとなりましたが、昨年から推進している都市部への集約化をもう一段進め、収益力の回復に努めていきます。

海外領域については、売上高のほとんどが英国から生まれています。現地通貨ベースでは現状、売上面・利益面ともにゆるやかに成長をしていますが、ブレグジット移行後の英国経済の先行きが不透明なため、今後の動向に注視していきたいと考えています。

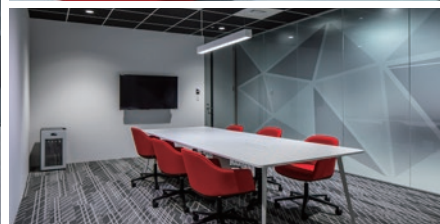
最後に

今回、当社グループは、ホールディングス体制へ移行し社名も新たにしました。株主の皆さまにとっては慣れ

親しんだ社名から変わるというなかで、今後当社がどのように変わっていくのかというところに大きなご期待をいただいていると思います。ビーネックス (BeNEXT) という名が表しているとおおり、「次に(未来)」に向けて成長の速度をあげていく、新たなチャレンジをしていくことを皆さまにお約束したいと思います。加えて、常にグループ一丸となって事業成長を継続していきたいと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きこれまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後の当社グループにご期待いただけますと幸いです。

2020年3月吉日
株式会社ビーネックスグループ
代表取締役社長 西田 穰



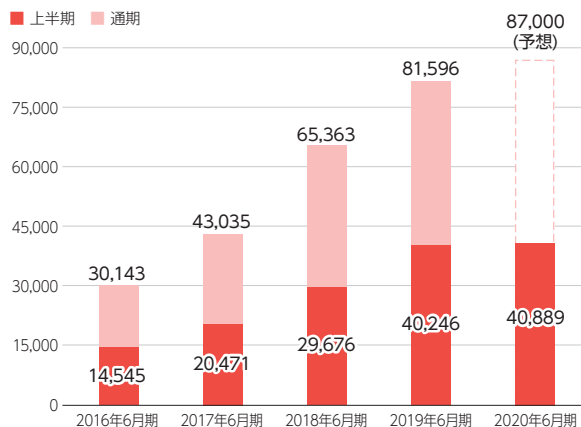
ホールディングス体制移行にともない、オフィスを増床リニューアルしました。

売上高は過去最高を更新

■ 売上高 (百万円)

約 **409** 億円

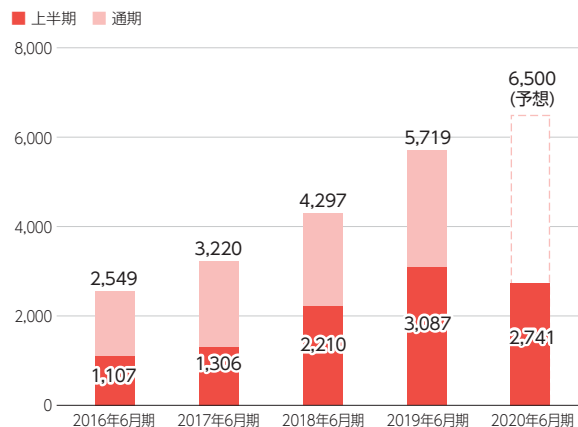
前年同期比 1.6%増↑



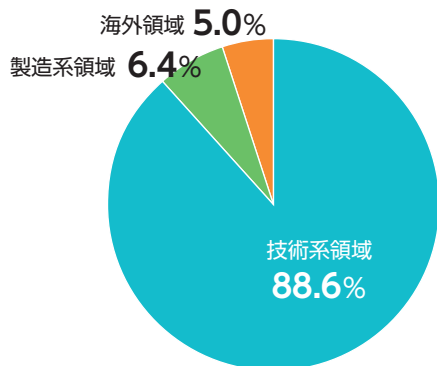
■ 営業利益 (百万円)

約 **27** 億円

前年同期比 11.2%減↓



セグメント利益構成比



技術系領域

注力分野であるIT系領域におけるIT・ソフト開発で社員配属が伸長しました。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は21,550百万円(前年同期比8.4%増)、セグメント利益は2,500百万円(前年同期比10.2%減)となりました。当セグメントの販売費及び一般管理費には、株式会社アクシス・クリエイトほか2社の子会社化に係る買収費用を含んでおります。

※P8「トピックス2」を参照

売上高構成比
52.7%

売上高 **21,550** 百万円

前年同期比 8.4%増↑

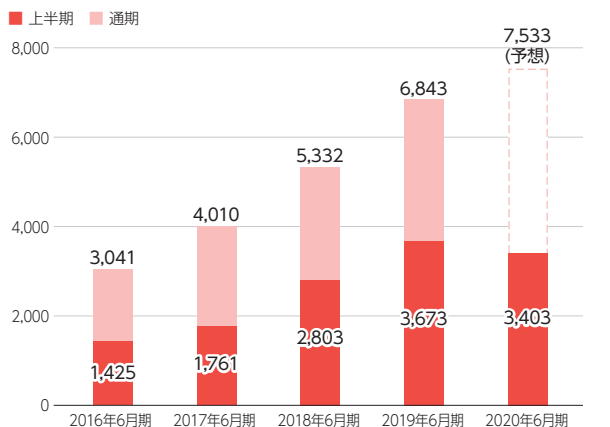
セグメント利益 **2,500** 百万円

前年同期比 10.2%減↓

EBITDA

(百万円)

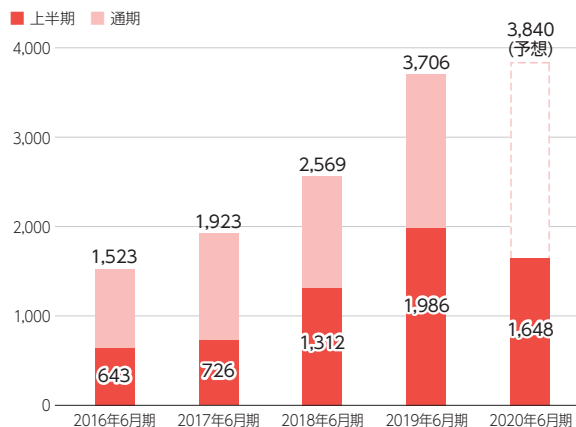
EBITDA=営業利益+のれん償却額
+減価償却費+買収一時費用



約 **34** 億円
前年同期比 7.4%減↓

親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(百万円)



約 **16** 億円
前年同期比 17.0%減↓

製造系領域

重点戦略地域に注力して求人案件の獲得数を増やし応募者とのマッチング数を増やす施策を推し進めましたが、当第2四半期連結累計期間内での大幅な業績寄与には至りませんでした。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は4,779百万円(前年同期比6.4%減)、セグメント利益は182百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

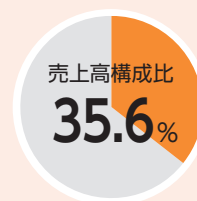


売上高 **4,779** 百万円
前年同期比 6.4%減↓

セグメント利益 **182** 百万円
前年同期比 29.9%減↓

海外領域

英国事業が現地通貨ベースでは増収だったもののポンド下落の影響が大きかったため、円ベースでは減収となり、売上高は14,564百万円(前年同期比4.9%減)となりました。一方、前期の英国事業における株式取得に係る一時費用の剥落および継続した原価改善の結果、セグメント利益は141百万円(前年同期比79.3%増)となりました。



売上高 **14,564** 百万円
前年同期比 4.9%減↓

セグメント利益 **141** 百万円
前年同期比 79.3%増↑

BeNEXT グループの理念



「Mission(日々果たすべき使命)」を遂行した先に「Vision(実現したい未来)」があり、<ブランドシンボル>は「Mission」の推進力を表しています。この推進力を生み出す源泉が「Value(約束する価値観)」です。

Slogan | ブランドの合言葉

誰もが時代の「次」になる。

Mission | 日々果たすべき使命

「次」に挑む、機会を創り続ける。

Vision | 実現したい未来

ひとりひとりが自分らしいキャリアを歩み、変革の原動力となる社会に。

Value | 約束する価値・強み

個の尊重

BeNEXTグループが最も大切にしているのは個の尊重です。ひとりひとりが持つ価値観や人間性を尊重し、その人ならではの才能を信じ抜くことをすべての事業活動の基本としています。それは、それぞれの個に向上心があることが前提です。どんな小さな一歩でも構いません。今より前に向かって挑戦する人たちとBeNEXTグループはともに在り続けます。

可能性の追求

BeNEXTグループは、いかなるときも未来志向で考えます。柔軟な発想でさまざまな選択肢を提案し、一歩先をともに見据え可能性をひらくことで、人や組織の成長機会を創造し続けます。

社会との調和

BeNEXTグループは、法令や諸規則を遵守するとともに、事業を通じて社会課題の解決に取り組みます。BeNEXTグループが信じるのは個の力です。多彩な人材を通じて多様な価値を提供し、「あらゆる企業×あらゆる個」の掛け算を社会のいたるところで生み出します。

IT領域の拡大 ITエンジニア派遣会社3社のグループ入り

約400名のITエンジニアが当社グループ入りしました。

2019年11月、株式会社アクシス・クリエイト、株式会社フェイス、並びに株式会社アクシスヒューマンデベロップメントの3社が当社グループ入りしました。

BeNEXTグループが属する技術系派遣市場は拡大基調が続いており、なかでもITエンジニアに対する需要が高く、5GやIoTの浸透によりITエンジニアの需要は全産業で高まり、今後も高水準で推移することが予想されます。

BeNEXTグループは、2020年6月期を初年度とする3カ年の中期経営計画において、技術系領域の更なる伸長、なかでもIT技術分野を拡張させることを掲げました。今回の3社の子会社化は中期経営計画に沿ったものであり、IT技術分野の拡張を前進させるためのものです。

中期経営計画で掲げている「IT」分野の拡大を前進

技術系領域

(技術系全般)

BeNEXT

BeNEXT Technologies

(株)ビーネックス
テクノロジーズ

BeNEXT Technologies Inc.

(IT)

BeNEXT

BeNEXT Solutions

(株)ビーネックス
ソリューションズ

BeNEXT Solutions Inc.

(IT)



AXIS CREATE

(株)アクシス・クリエイト

AXIS CREATE Inc.

(IT教育)

AND

(株)アクシスヒューマン
デベロップメント

AXIS
HUMAN DEVELOPMENT Inc.

※2020年2月1日、株式会社アクシス・クリエイトと株式会社フェイスは合併いたしました。

ホームページのリニューアル

今回のリニューアルでは、皆さまにとってより使い勝手がよく、情報を探しやすいように構成やデザインを改善しました。またパソコン以外にもスマートフォンやタブレットからも、快適にご利用いただけるホームページにしました。

コーポレートブランドの確立を目指し、ビジュアルアイデンティティのもとロゴ・社名・ビジュアルを統一したホームページの構成となっています。



ビーネックスグループ



ビーネックステクノロジーズ



ビーネックスパートナーズ



ビーネックスソリューションズ

- ▶ コーポレートカラーであるパッションレッドとコンフィデンスグレーを使用したデザイン
- ▶ グループ各社のホームページもビジュアルアイデンティティのもと一体感を持たせました



- ▶ 欲しい情報にすぐにアクセスできるように階層を減らしました
- ▶ 第1階層から第3階層までカーソルを合わせるだけで情報のタイトルが確認できます



- ▶ スマートフォンやタブレット向けにも完全対応
- ▶ 操作性も見やすさも大幅に改善し、欲しい情報が見つけれやすいようになりました

IR NEWS

IRニュースメールのご案内

当社の財務情報やIRサイトの更新情報をメールでお知らせする「IRニュースメール」を配信しております。ご希望の方は、ホームページからご登録ください。

<https://www.benext.co.jp/ir/>

株式の状況

株式の状況

(2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	143,600,000株
発行済株式総数	42,803,900株
株主数	4,724名

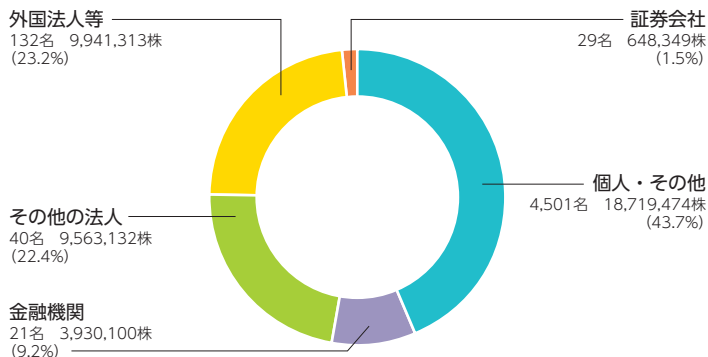
大株主

(2019年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中山 隼雄	8,378	19.6
株式会社アミューズキャピタル	8,240	19.3
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,326	10.1
株式会社アミューズキャピタルインベストメント	1,240	2.9
中山 晴喜	1,140	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,107	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	963	2.3
椛田 法義	720	1.7
賀来 昌義	621	1.5
有馬 誠	600	1.4

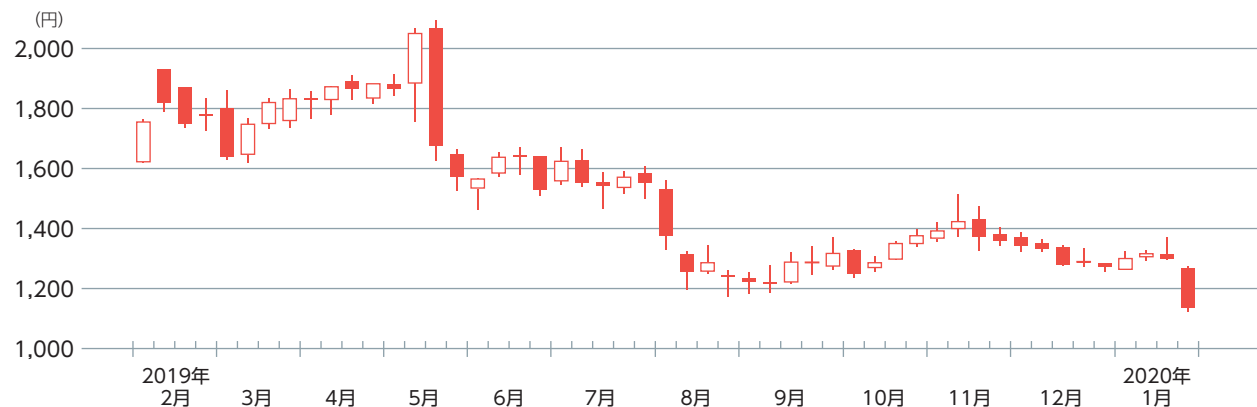
株式の分布状況

所有者別保有株主数(名) / 株式数(株)



(注) 持株比率は自己名義株式(687株)を控除して算出しています。

株価の推移



※2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しており、グラフは遡及修正値を記載しております。

会社概要		(2020年1月1日現在)
会社名	株式会社ビーネックスグループ (英文名BeNEXT Group Inc.)	
本社所在地	東京都港区東新橋2-14 -1 NBFコモディオ汐留	
設立	1997年8月 (共生産業株式会社の商号で設立)	
資本金	43億5,577万円	
事業内容	グループ会社の統括及び運営	
国内子会社	株式会社ビーネックステクノロジーズ (幅広い技術分野における人材派遣・請負・受託・人材紹介事業を展開)	
	株式会社ビーネックスパートナーズ (幅広い製造分野における業務請負・人材派遣を展開)	
	株式会社ビーネックスソリューションズ (IT分野における企画・設計・開発及び人材派遣を展開)	
	株式会社ビーネックススイズ (障がい者が健常者と共に社会の一員として活躍できる環境を提供)	
	株式会社アクシス・クリエイト (IT分野における企画・設計・開発及び人材派遣を展開)	
海外子会社	株式会社アクシスヒューマンデベロップメント (ITエンジニアの育成)	
	GAP PERSONNEL HOLDINGS LIMITED [イギリス] (人材派遣、人材紹介事業を展開)	
	MTrec Limited [イギリス] (人材派遣、人材紹介事業を展開)	
	PT.TRUST TECH ENGINEERING SERVICE INDONESIA [インドネシア] (人材紹介事業を展開)	
	Le & Associates [ベトナム] (人材派遣、人材紹介事業を展開)	
托斯蒂客(上海) 人才咨询有限公司 [中国上海] (人材紹介事業を展開)		
山東聯信智達人力資源有限公司 [中国威海] (人材派遣、請負、人材紹介事業を展開)		
広州点米信科人力資源有限公司 [中国広州] (人材派遣、請負、人材紹介事業を展開)		



<https://www.benext.co.jp/>

役員一覧		(2020年1月1日現在)
代表取締役社長	西田 稷	
取締役	村井 範之	
取締役	木村 重晴	
取締役	宮野 隆	社外 独立
取締役	残間 里江子	社外 独立
取締役	清水 新	社外 独立
監査役	下川 富士雄	社外 独立
監査役	高倉 潔	
監査役	名子 俊男	社外 独立
<p>※1.取締役の宮野隆氏、残間里江子氏及び清水新氏は社外取締役であり、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。</p> <p>※2.監査役の下川富士雄氏及び名子俊男氏は社外監査役であり、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。</p>		
株主メモ		
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで	
剰余金の配当基準日	6月30日(中間配当は12月31日)	
定時株主総会	毎年9月	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部	
郵便物送付先/ 電話お問い合わせ先/ お取扱店	<p>■証券会社に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社となります</p> <p>■特別口座の場合 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 ☎0120-288-324(フリーダイヤル) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店</p>	
公告の方法	電子公告(当社ホームページに掲載) https://www.benext.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。	

(ご注意) 1.未払配当金の支払、支払明細発行については、上記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。
2.単元未満の買取以外の株式売買はできません。電子化前にも義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。